



※写真撮影時のみマスクを外しております。



## 愛知県知事へ要望

衣浦港振興会（長田和徳会長／碧南商工会議所会頭）と衣浦港整備促進期成同盟会（禰亘田政信会長／碧南市長）は、1月18日（水）に愛知県知事公館を訪問し、衣浦港外港地区衣浦ポートアイランドにおける新たなふ頭（耐震強化岸壁等）の早期実現と国際競争力強化につながる衣浦港 CNP 形成の推進について、愛知県知事 大村秀章氏に要望書を提出した。

長田会長からは、「衣浦港はバルク貨物を主に取り扱う一方、国内最大級の石炭火力ではアンモニア混焼の実証実験が進められ、またバイオマス発電所が立地するエネルギー拠点となっている。このような中、社会実装推進会議において知事より、水素に加えアンモニアも一体で議論する体制が確立できたことを契機として、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを進めていきたい旨の発言があったことから、衣浦港が新エネルギーの拠点を目指すことで港の利用増加につなげ、結果として、愛知県の産業振興及びカーボンニュートラル推進の根幹となれるとの思いから、衣浦港の新たなふ頭の早期実現と CNP の推進をお願いしたい。」と要望した。

大村知事より「皆様と共に、着実に衣浦港の機能強化と脱炭素化に取り組んで参ります。」との回答があった。



## 国土交通省・中部地方整備局・愛知県への要望

衣浦港振興会（鈴木並生会長／碧南商工会議所会頭：役職は当時）は、衣浦港を取り巻く関係行政団体である衣浦港整備促進期成同盟会（禰亘田政信会長／碧南市長）と合同で、7月7日（木）に国土交通省中部地方整備局と愛知県に、また、7月12日（火）には国土交通省（本省）、地元選出の衆議院議員・参議院議員に「衣浦港の整備促進・拡充」を求める要望を行った。

7日の中部地方整備局では、副局長 佐々木淑充氏始め幹部職員に、また愛知県庁では、都市・交通局長 金田学氏始め幹部職員に面会した。12日の国土交通省では、国土交通大臣政務官 木村次郎氏、大臣官房技術審議官 佐藤寿延氏、港湾局長 堀田治氏と面会、さらに衆議院議員の伊藤忠彦氏、石井拓氏、大西健介氏、伴野豊氏に面会して直接要望書を手渡した。

両日ともに、鈴木会長からは「バルク貨物の集約化や船舶の大型化に対応するとともに、大規模地震時における緊急物資の受入拠点としての役割を担うためにも、衣浦ポートアイランドが物流の中核拠点となるよう、早期の整備をお願いしたい。」と要望した。禰亘田会長からは「2050年カーボンニュートラルに向けては、石炭火力で混焼実験が進む燃料アンモニアの受入環境の整備や集積する臨海部産業との連携が社会的に求められていることから、CNP形成への取組（※1）を加速する必要がある。衣浦港が中部地域のものづくり産業を支え、CNPによるグリーン社会の実現を進めながら、競争力強化及び生産性向上を図るには、新たなふ頭を契機とした港湾空間の再編を推進し、これを効果的に機能させるための事業が不可欠。港湾整備及び海岸整備予算の増大を図っていただきたい。」と要望した。

（※1）愛知県では、衣浦港カーボンニュートラルポート形成計画策定に向け、「衣浦港カーボンニュートラルポート形成協議会」を設置、2022年11月17日に第1回の協議会が開催され、基本的な事項の確認と対象範囲の考え方について協議が行われた。

### 要望内容

#### ● 競争力強化のための港湾整備の推進（国・愛知県）

～外港地区における新たなふ頭整備と港湾施設の機能向上による物流機能の強化～

#### ● 計画的な防災・減災対策、維持管理の推進（国・愛知県）

～切迫する大規模地震や激甚化・頻発化する風水害への対応と安全・安心を確保するための維持管理・改良～

#### ● 賑わいあるみなとづくりの推進（愛知県）

～みなとの魅力を活かした親しまれる港湾空間の創出と次世代に繋げるための環境保全の推進～



▲木村政務官へ要望書手交



▲佐々木副局長へ要望書手交



▲金田都市・交通局長へ要望書手交

※写真撮影時のみマスクを外しております。



## 自由民主党愛知県議員団 県土整備促進議員連盟港湾部会への要望

衣浦港振興会（鈴木並生会長／碧南商工会議所会頭：役職は当時）など、愛知県内の五つの港湾関係団体（愛知県港湾経済連合会、三河港振興会、衣浦港整備促進期成同盟会、愛知県港湾協会）は、10月4日（火）に愛知県議会議事堂にて開催された自由民主党愛知県議員団県土整備促進議員連盟港湾部会内において、名古屋港・三河港・衣浦港などの各港湾について要望を行った。当日は、会長久保田浩文氏、港湾部会長 杉浦孝成氏を始め部会所属県議会議員や愛知県都市・交通局長 金田学氏を始め幹部職員が出席した。

鈴木会長より「衣浦港がますます発展していくためには、現在の衣浦港の特徴を活かし、バルク貨物の対応に万能な港とすることで、衣浦港自身の再編を促し、利用者にとって有益な港となっていくことが重要で、そのためには衣浦ポートアイランドへの国際物流ターミナルの整備が必要。また、衣浦港の一部の航路・泊地で、継続的な浚渫の必要を強く感じている。運航支障、積載量の制限による利用低下が起こらず、良好な状態が常に維持されるよう、必要な港湾維持管理費の予算確保をお願いする。現在の港湾計画策定当時には無かった社会変容の動きに追従していくため、関係者と連携した次世代エネルギーの活用方策を含めたカーボンニュートラルポート形成計画を十分に検討した上での早期策定と、その計画を反映した着実な衣浦港港湾計画の改訂をお願いする。」等、計7項目を要望した。



▲要望会の様子

### 要望内容

1. 衣浦ポートアイランドへの国際物流ターミナルの整備
2. 港湾整備、港湾維持管理の予算確保
3. 衣浦港港湾計画の着実な改訂
4. 港湾施設緊急改修費の予算確保
5. 海岸保全施設の耐震化等のハード対策
6. 陸上交通機能の充実
7. 港湾行政組織の充実  
(衣浦港務所の機能拡充)



▲杉浦港湾部会長へ要望書手交

# TOPICS



## 衣浦港振興会建設部会 港湾視察研修会

衣浦港振興会建設部会（木村徳雄部会長／木村建設㈱）は、11月17日（木）～18日（金）、港湾視察研修会を開催し、17名が参加した。

視察先である沖縄県中城湾港は、昭和47年5月の沖縄の本土復帰とともに琉球政府から沖縄県に移管され、昭和49年4月に重要港湾に指定された。昭和55年7月に流通加工港湾として位置づけられ、昭和56年3月の港湾計画改定により新港地区の計画が決定し、昭和59年から整備が進められている。現在は、新港地区の第2期計画およびマリンタウンプロジェクト（西原与那原地区）を整備中であり、また泡瀬地区についても整備に着手した。

当日は、内閣府沖縄総合事務局 那覇港湾空港整備事務所 中城湾港出張所を訪問、所長 新垣英隆氏より軽石再利用実証実験の説明を受け、中城湾港（泡瀬地区）人工島事業の工事現場を見学した。



## お知らせ



会長 長田和徳氏  
(碧南商工会議所 会頭)



副会長 松石奉之氏  
(半田商工会議所 会頭)

衣浦港振興会の会長・副会長が変更となりましたので、お知らせ致します。

これは、碧南商工会議所、半田商工会議所における、役員議員の任期満了に伴う改選により、両商工会議所において新たに会頭が選任されたことに伴うものです。

令和3・4年度は  
事務局が  
碧南商工会議所  
となります



所在地 〒447-8501 碧南市源氏神明町90 (碧南商工会議所内)  
TEL (0566) 41-1100  
FAX (0566) 48-1100  
URL <http://www.hekinancci.or.jp>  
E-mail [info@hekinancci.or.jp](mailto:info@hekinancci.or.jp)

